

令和6年度学校評議員会 まとめ

1 第1回学校評議員会

(1) 日時

第1回：令和6年6月13日（木）午前9時30分から午前11時30分まで

(2) 場所

愛知県立西春高等学校 応接室ほか

(3) 出席者

学校評議員、校長、教頭、事務長

(4) 次第

①校長あいさつ

②自己紹介

③学校の近況等報告

スクール・ポリシー及び今年度の重点目標、学校評価、年間計画、生徒概況等、進路速報、部活動の成果報告について説明した。

④授業見学

1年～3年の全教室及び体育館を見学した。

⑤評議員からの意見

- 電車通学の生徒の様子を見かけるが、穏やかな雰囲気でもナーがよい。他校の生徒と比べて、スマホを見ているより会話している光景が多いと感じる。
- スクールポリシーにもあるように、生徒は失敗から学び、成長してほしい。失敗を怖がらず、自分を成長させる「チャンス」ととらえてほしい。
- ICTを活用した授業は、小・中学校で進んでおり、主体的・対話的で深い学びを実践する有効なツールであると感じている。高校では、教科の特性やICT環境等の違いがあると思うが、活用状況が教科担任によって大きく違う。高校生なら家でも活用するなど、より主体的な選択をしてほしい。また、協働的な取り組みで一層学びを深めてほしい。
- 教員の、部活動に対する負担感はどうか？
→熱心な生徒の活動に対して、協力的にサポートしてもらっている。
- 心身の不調を訴える教員はいるか？小・中学校では保護者対応に苦労している教員が多い。
→本校教員からの訴えはない。
- 体操服で登校する際、胸元の名前表記を悪用したり、トラブルに巻き込まれる事例がある。
注意喚起するなど、生徒の安心・安全に配慮してほしい。
- 体育の授業時に、マスクを着用して運動している生徒が一定数いる。これからの時期は熱中症のリスクも高まるので注意してほしい。
- 第2志望で入学する生徒もいると聞いたが、入学後の取り組みが大切。西春高校という選択がベストといえるような高校生活を送ってほしい。そのためにも、自分で選択する能力を高めてほしい。

⑥校長謝辞

2 第2回学校評議員会

(1) 日時

2月（書面開催）

(2) 評議員からの意見

○本年度の重点目標については、まさに高等学校及び高校生の今日的課題を踏まえたものであり、校長先生の明確で的確な学校経営ビジョンが示されていると評価できます。

○私が教鞭をとる愛知教育大学にも西春高校の卒業生がおり、偶然数人の学生と高校生活について話をしましたが、どの学生からも満足度の高さがうかがえました。

○学生が唯一不満を口にしていたのは行事でのスマートフォン使用に関してでしたが、それも本年度は生徒の気持ちに寄り添い、生徒の主体性の育成や自己肯定感の高揚につなげており感心させられました。

○早慶においても総合型入試割合が一般入試割合を上回るなど、VUCA時代となって社会や大学が求める人物像はますます変わってきています。学校案内チラシを作成して西春高校独自の魅力を発信したり、探究的な授業づくりに励んだりするなど、素晴らしい取り組みをされていると思います。

○今後も偏差値ではなく Well-being の視点で、生徒にとっても教職員にとっても幸せな学校経営を続けていただきたい。

○素晴らしい学校だと思いますので、その良さを多種多様な方法で広報できるといいと思います。